



第50回日本臨床バイオメカニクス学会 ランチョンセミナー2

屍体肩を用いたバイオメカニクス研究 臨床研究では解決できない臨床的疑問を解決するために

講師



三幡 輝久 先生

大阪医科薬科大学 整形外科 准教授

日時

2023年**11月10日(金)** **12:40-13:40**

会場

第**2**会場 (4F 大会議室409)

アクリエひめじ

座長



山本 宣幸 先生

東北大学大学院医学系研究科 整形外科学分野 准教授

※本会のランチョンセミナーは整理券制ではございません。先着順でのご入場となります。

※現地開催のみにて実施いたします。LIVE配信・オンデマンド配信はございません。

※本会のランチョンセミナーでは、日本整形外科学会教育研修単位が取得できます。

単位種別N, 専門医必須分野 [1]整形外科基礎科学, [9]肩甲帯・肩・肘関節疾患

学会 HP

dps.jkkpro.jp



ランチョンセミナー

屍体肩を用いたバイオメカニクス研究 臨床研究では解決できない臨床的疑問を解決するために

三幡 輝久 先生

大阪医科薬科大学 整形外科 准教授

日常診療において生じる臨床的疑問に対して臨床研究が行われることが一般的であるが、臨床研究だけでは全ての臨床的疑問を解決することはできない。また臨床研究によって臨床的疑問に対する統計学的に有意な結果が得られたとしても、どのようにしてその有意な結果が得られたのかというメカニズムを解明することはできない。

屍体を用いたバイオメカニクス研究は、臨床研究では解決できない臨床的疑問を解決したり、病態やメカニズムを解明したりすることができる基礎研究であり、1960年代から世界中で盛んに行われている。我々は2002年から屍体肩を用いたバイオメカニクス研究を行い、肩関節疾患に対する多くの臨床的疑問を解決してきた。今回の講演では、臨床的疑問からどのようにして研究デザインを立て、屍体肩を用いたバイオメカニクス研究を成功させるのかを述べる。

略歴

1994年	和歌山県立医科大学卒業
1994年	大阪医科大学 整形外科入局
2001年	Johns Hopkins University, Biomechanics Laboratory 研究留学
2002年	University of California, Irvine, Orthopaedic Biomechanics Laboratory 研究留学
2003年	Kerlan-Jobe Orthopaedic Clinic にて臨床研修
2006年	大阪医科大学 整形外科 助教
2020年	大阪医科大学 整形外科 准教授 現在に至る

